

第1202号

株式会社 茨城木材相互市場

2020

那珂川NEWS2

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

国産材 BP 材の量産工場が稼働 ウッドBP関東

杉、桧構造用製材一般流通材を原材料に、大断面構造材の量産を目指すウッドBP関東(茨城県常陸大宮市、中村勝博社長)が建設を進めていたBP材製造工場が完成した。同工場は昨年12月から試験体製造を開始。同社では初年度3000㎡の製造を目指し、次段階で年間1万㎡まで引き上げていく。また、BP材による大断面構造材を加工する専用のプレカット加工設備の導入も計画している。

初年度3000㎡、段階的に1万㎡へ

BP材は、国産材針葉樹A材需要、特に蓄積量が増大している太目材丸太の有効活用を目的に開発された複合構造材だ。汎用性の高い120、150ミリ角などの構造用製材をエポキシ樹脂系2液型接着剤で接着、積層して大断面構造材を取得するもので、角材を重ねてパネル化し、さらにこのパネルを束ねることで超大型の柱材や梁材まで製造することができる。

これまで、工芸社・ハヤタ(熊本県山鹿市、早田允英社長)のみがBP材を製造し全国に出荷してきたが、ウッドBP関東の完成に伴い、2番目の製造拠点が誕生した。重ね、束ね双方の製造を機械化したのはウッドBP関東が初めて。住宅等の梁・桁材向けとなるBP材既製品量産でも同社が最初の工場となる。

角材重ね設備は、最大8m長×750mm(150mm角5段重ね)が3基。束ね設備は、最大8m長×750×900mmまで製造することができる4面圧着プレスが1基。

年間製造能力は重ね設備で3000㎡。合わせてプレーナー設備も導入した。工場は、茨城県と宮の郷工業団地内の県有地を20年間、定期借地権契約した。敷地面積は6000坪。

原材料となる120~210mm角材は、茨城県内の製材事業所から調達していく。BP材で必要とされる角材はJAS機械等級区分KD構造用製材となることから、同社に隣接する八溝多賀木材乾燥協同組合(皆川正一理事長)でKD及びJAS機械等級区分構造用製材の格付けを行っていく。

工芸社・ハヤタが製造するBP材は、「木質複合軸材料スギBP2段・3段・4段・5段重ね」で建築基準法第37条の国土交通省大臣認定を取得しているが、ウッドBP関東でも早期の当該大臣認定取得を目指し、試験体製造を進めている。

次段階では、BP材製造能力の拡大及びプレカット加工、自社KD設備の設置、専用金物の開発などを計画している。

■わたしたちの使命 (茨城木材の社会的役割)

「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



第42回茨城県木材まつり 「優良木材コンクール」

主催：茨城県木連

農林水産大臣賞に株式会社 美和林産 (常陸太田市)

| | | | | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| ■全日本木材市場連盟会長賞 (有)渡部製材所 様 | ■全国木材組合連合会会長賞 (有)銚田製材所 様 | ■茨城県農林水産部長賞 (有)野上製材所 様 | ■茨城県知事賞 田中木材店 様 | ■関東森林管理局長賞 (株)東山木材 様 | ■林野庁長官賞 (名)皆川材木店 様 | ■農林水産大臣賞 (株)美和林産 様 | 「製材の部入賞者」(上位7社) |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|

受賞者の皆様方まことにありがとうございます！

引き上げていく考えだ。大断面構造材となることから通常のプレカット加工機での最終加工は難しく、専用設備と接合金物の開発は必須という。同工場では、一般住宅向け梁・桁用BP材既製品の在庫販売及び中高層木造建築物構造材の供給に主眼を置く。

日刊木材新聞 令和2年1月9日号より

■BP材とは？

2019.12 第2面参照

杉やヒノキの製材をエポキシ樹脂で

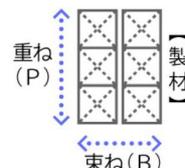
圧着し、束ねる(Binding)/重ねる

(Piling)という手順を経て出来上

がったもの“木質複合軸材料”がBP

材です。集成材は製造に時間がかかり

ますが、BP材は製材さえあればそれをエポキシ樹脂で圧着・養生するだけなので仕上がりがスピーディー。さらに断面が大きくなった分、強度も大幅に向上しています。2~5段重ねが基準の段数となります。杉BP材と桧BP材とでは、桧BP材の方がヤング係数が高く、広いスパンでの利用が可能となります。



【市日予定】

〈本社〉

2月13日(木) 記念市

〈つくば〉

2月6日(木) 記念市

13日(木) 通常市

20日(木) 通常市

27日(木) 記念市

2/13(木)いばらき県産材展示会